

令和5年度 奈良県防災士会総会

令和5年5月28日(日)に令和5年度総会を、橿原神宮会館にて開催しました。

冒頭、末田理事長より、「久しぶりに対面による開催ができた。今後は以前のように懇親会などを通じてコミュニケーションを図っていきたい。」との挨拶がありました。

司会者である古瀬副理事長より、総会議長の指名があり、本年度も総会議長は奥田副理事長に大役を務めていただきました。

議案については予定されていた5つの議案の通りで、末田理事長、八幡領理事(事務統括)、板垣理事(会計)、村山監事より提案がなされ、審議したところ、全て原案通り可決となりました。なお、全ての議案に対して質問、意見、要望はありませんでした。

- ・総会構成員 正会員139名中、出席43名、委任状提出63名
- ・開始終了時刻 13時00分～14時00分

<報告者：八幡領 防災士>



活動報告

■2023年(令和5年)1月～7月末の活動 ※参加人数は、主催者発表による。

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
1/15(日)	上牧町災害時対応訓練	上牧町	上牧町社会福祉協議会	140人
1/16(月)	大和川流域水害対策協議会(第4回)	奈良県	大和川流域水害対策協議会	60人
1/17(火)	奈良県防災プラットフォーム連絡会 定期会議(第3回)	—	奈良県社会福祉協議会	10人
1/26(木)	都祁中学校防災練習 「都祁の防災とマイ・タイムライン」	奈良市	奈良市立都祁中学校	99人

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
2/ 2(木)	知的障害者相談員強化事業研修会 第2回「地震タイムライン～知的に障がいのある人の支援を考える～」	奈良県	奈良県手をつなぐ育成会	49人
2/ 6(月)	奈良市防災リーダー研修 「マイ・タイムライン」	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	129人
2/ 9(木)	奈良県防災会議	奈良市	奈良県	1人
2/15(水)	奈良県防災プラットフォーム連絡会 (災害支援ネットワークヒアリング)	奈良市	奈良県社会福祉協議会	10人
2/18(土)	防災研修会 「地震！その時あなたは どうする」	桜井市	桜井市安部地区社会福祉協議会	32人
2/21(火)	奈良県防災プラットフォーム連絡会 定期会議(第4回)	—	奈良県社会福祉協議会	10人
2/23(水)	日本防災士会関西支部連絡協議会会議	—	日本防災士会関西支部連絡協議会	9人
2/26(日)	第3回コロナ禍の災害対策ワークショップ 「地区防災計画について」講演	上牧町	かんまき自主防災ネットワーク	35人
3/ 1(水)	木津川上流部大規模水害・土砂災害に 関する減災対策協議会	—	近畿地方整備局 木津川上流 河川事務所	34人
3/ 4(土)	生駒郡4社協 災害VC立上げ訓練	—	生駒郡4町社会福祉協議会 事務局長会	65人
3/ 4(土)	八木地域子ども教室(防災紙芝居)	橿原市	内膳町防災会	19人
3/10(金)	地域デビュー応援講座	奈良県	社会福祉法人奈良県社会 福祉協議会	40人
3/14(火)	被災者支援コーディネーター育成研修	奈良県	奈良県防災プラットフォーム 連絡会	20人
3/18(土)	日本防災士会理事会	東京	日本防災士会	—
4/ 8(土)	内膳町自主防災会総会・研修	橿原市	内膳町自主防災会	35人
5/13(土)	本部理事会	東京	日本防災士会	—
5/17(水)	三郷中学校防災訓練	三郷町	三郷町教育委員会	180人
5/24(水)	奈良県総合訓練全体会議	吉野郡	奈良県防災統括室	50人
5/26(金)	大和高田市手をつなぐ育成会 「地震時タイムライン研修」	大和高田市	大和高田市手をつなぐ育成会	24人
5/28(日)	奈良県防災士会 令和五年度定期総会	橿原市	奈良県防災士会	72人
5/28(日)	奈良県防災士会 令和五年度記念研修会	橿原市	奈良県防災士会	62人
6/ 3(土)	耳成地域子ども教室	橿原市	耳成地域子ども教室実行委員会	41人
6/ 9(金)	川西町民生児童委員防災研修 「大雨が降ると川西町はどうなるの？」	川西町	川西町民生児童委員協議会	22人
6/11(日)	葛城市防災士会総会	葛城市	葛城市防災士会	25人
6/14(水)	平群町地域支え合い推進員研修	平群町	平群町社協	40人
6/17(土)	耳成地域子ども教室	橿原市	耳成地域子ども教室実行委員会	66人
6/17(土)	日本防災士会定例総会	—	日本防災士会	80人
6/18(日)	三室自治会地域の役員を対象とした 災害時の助け合いの意識向上	三郷町	三室自治会	43人
6/24(土)	上但馬自治会防災研修 「大雨が降ったら上但馬はどうなるの？」	三宅町	三宅町上但馬自治会	30人

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
6/25(日)	キッズつげザー「めざせ防災士」	奈良市	都祁公民館	17人
7/2(日)	上牧町避難所開設訓練	上牧町	上牧町	20人
7/2(日)	明日香村災害復旧支援事前打ち合わせ	明日香村	奈良県防災士会	3人
7/3(月)	明日香村災害復旧支援	明日香村	奈良県防災士会	6人
7/4(火)	明日香村災害復旧支援	明日香村	奈良県防災士会	5人
7/4(火)	都祁中学校地震対応練習	奈良市	奈良市立都祁中学校	99人
7/7(金)	奈良市総合防災訓練関係機関等調整会議	—	奈良市危機管理課	48人
7/9(日)	明日香村災害復旧支援	明日香村	奈良県防災士会	16人
7/11(火)	明日香村災害復旧支援	明日香村	奈良県防災士会	3人
7/12(水)	災害時の福祉介護のあり方	奈良市	奈良佐保短期大学生活未来科 生活福祉	1人
7/13(木)	明日香村災害復旧支援	明日香村	奈良県防災士会	10人
7/15(土)	明日香村災害復旧支援	明日香村	奈良県防災士会	7人
7/16(日)	明日香村災害復旧支援	明日香村	奈良県防災士会	7人
7/16(日)	曾爾村防災訓練「防災タイムライン」	曾爾村	曾爾村役場	30人
7/17(月)	明日香村災害復旧支援	明日香村	奈良県防災士会	9人
7/23(日)	奈良県中途失聴・難聴者協会 「防災学習会」	橿原市	奈良県中途失聴・難聴者協会	20人
7/28(金)	斑鳩町自主防災連絡会発足式	斑鳩町	斑鳩町安全安心課	30人
7/29(土)	関西支部連絡協議会総会	大阪	日本防災士会関西支部連絡 協議会	12人

■連続講座 平群町教育委員会主催

月/日(曜)	連続講座内容	場所	参加人数
6/3(土)	くらしに活かす防災講座 第一回「平群町の災害リスクを知ろう(地震編)」	中央公民館	7人
7/1(土)	くらしに活かす防災講座 第二回「平群町の災害リスクを知ろう(水害編)」	中央公民館	4人

■ラジオ・新聞・テレビ関連

月/日(曜)	番組名、取材テーマ	主催者又は要請団体	出演
2/18(土)	NHK ラジオ「関西発ラジオ深夜便」		
6/6(火)	打合せと取材	NHK 奈良放送局	末田
6/8(木)	出水時の防災対応	NHK 奈良放送局	末田、植村、小山
6/19(月)	NHK取材(地震への備え)	NHK奈良放送局	末田
6/25(日)	NHK取材(キッズつげザー)	NHK奈良放送局	末田、北村厚、北村し

■奈良県安全安心まちづくりアドバイザー派遣

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
5/18(木)	防災講演会タイムライン	高取町	高取町介護支援専門連絡協議会	35人

■ 総会記念研修会講演

2023年5月28日（日）令和5年度NPO奈良県防災士会総会に続いて、設立15周年の記念研修会が行われました。

コロナ感染症が5類に引き下げられたとはいえ、予断をゆるされない時期でしたが会場はほぼ満席となりました。



「防災士と災害」と題し、講師はNPO災害支援レスキューアシスト、中島 武志 代表です。東日本大震災を機に石巻市でボランティアに入り、以後様々な体験を経て、持てるスキルを生かし、被災地支援を行う技術を持ったプロフェッショナルとして現在活動されています。よく知られている段ボールで作ったアシスト瓦は中島代表の発案です。災害で瓦屋根が破損するなどした際に、ブルーシートで覆っても3日程度しかもたないことがあったが、アシスト瓦は確実に雨を防ぎ3年もの耐久性があるそうです。高所作業を含めたこの技術を、被災地で支援にあたる自衛隊や消防隊員にも指導されています。

「災害弱者を置き去りにしない」という信念のもと、発災に際し正確な情報収集を行い、24～72時間以内に迅速に被災地に入り、行政、社会福祉協議会と連携し、真に必要なことは何か直接被災者の声を聴き、生活の再開を支援しています。実は本日も被災地からのご来場で、この研修後は再び支援活動に戻れるとのことでした。人それぞれ被災状況は様々で、画一的に判断できるものではない。行政も個別の状況に応じて判断をするのはやはり難しい。NPOやボランティアに頼らざるを得ないことや、判断をも引き継ぐことがある。被災者に対してどのような支援制度があるのか、申請はどのようにするのか、知らせてあげることも必要と話されていました。また、被災地、被災者が自らの足で災害から立ち上がり、「普通に暮らせる幸せ」を取り戻すには、支援も長期に渡ることになるが、何もかもを与え手伝うのではなく、復興、再興するには支援を受ける側の「受援力」が重要とおっしゃっていて、レスキューアシストの活動を引き継ぐ新しい力を各地で育成もされています。災害に対する備えや考え方、それらを促す私達の防災・啓蒙活動が、地域の防災力、受援力を高め、有事の際の防災、減災、復興に寄与することは証明されています。

中島 武志 代表率いるレスキューアシストの真似はできませんが、同じ理念を共有する者として、これからの活動にあたり学ぶべきものが多い研修会でした。

〈報告者：古瀬 防災士〉

NPO 法人「災害救援レスキューアシスト」代表理事 中島武志さんプロフィール

2016年2月任意団体設立・同4月より活動開始。

2019年7月10日、NPO法人化。

結成時より代表として日本全国の災害被災地にて、困っている人を目の当たりにして諦めるのではなくどうすれば良いのかを考えて、被災した人が本当に必要としている支援ができるように、住民さんの声に耳を傾け、様々な分野の方と連携をしながら活動中。



■大和高田市手をつなぐ育成会タイムライン研修

令和5年5月26日（金）大和高田市総合福祉会館（ゆうゆうセンター）会議室において、大和高田市手をつなぐ育成会主催による防災研修会が行われました。本研修会は大和高田市手をつなぐ育成会の総会行事の一環として企画され、会員に加えて来賓としてご来席の県議会議員や市議会議員からも数名が参加されました。講師として奈良県防災士会から6名が招かれ、植村防災士がメイン講師を務めて総勢24名の皆さんに「地震発生時のマイ・タイムライン作成」に取り組んでいただきました。サポート役の防災士はフロアを回って参加者に声掛けをし、考えるきっかけを一緒に探りました。議員の一人は「タイムラインということで、発災時どうするかということを考えてみると、できていないと感じた」と感想を言われました。会の方も「家具転倒防止や耐震などは対処している」と答えられましたが、「実際災害が起こったときに向けての対策はしていない」「近所でも今まで助けていただいていた方たちが高齢になられ、頼れる人がいない」などと話しておられました。そのためか、避難所に行くというよりは、自宅避難をベースに考えておられる方が多いようでした。助け合える、困っている時に「助けて」を言えるような近所づきあいが、できるといいなと感じました。〈報告：大北 防災士〉



■NHK奈良放送局で、出水時に気をつけること （山間部、浸水地域、マンションなど）

NHK 奈良放送局から大雨への対応についての取材依頼があり、奈良県防災士会から3名の防災士が対応しました。

出水時に気をつけることと題して、事前準備と身を守ることが大切であることを伝えました。火事や地震とは違って台風や大雨は予報があるので、前もって備えておくことが出来ますが、「雨くらい」と思って油断されている方が多いのが実情です。

山間部、浸水地域、マンションでは、それぞれ事情があり気をつけることや準備しておくことも異なりますので、それぞれの地域の防災士がアドバイスを行い収録をしました。日を分けてならナビ等で放送されます。〈報告：末田政一 防災士〉



■川西町民生委員協議会防災研修

令和5年6月9日（金）川西町健康保健センターにて、川西町民生児童委員協議会主催の防災研修が行われました。講師に奈良県防災士会の小山防災士が招かれ、「川西町に大雨が降ったらどうなるの?」と題して民生児童委員22名の皆さんに洪水ハザードマップの見方をお話ししました。折しもちょうど1週間前に「奈良県下で線状降水帯が確認された」こともあり、関心をお持ちの方が多かったように思われました。

研修後のアンケートでは「ハザードマップを示しながら説明していただいたので、分かりやすかった。」「川西町の現状をこと細かく説明を聞き、すごく興味を持った。」「避難の意味合いがよく理解できました。」「川の様子をパソコン等で見られるという情報をいただいたので、入力して見てみたいと思います。」などの感想が寄せられました。「今回の研修内容を地元の自治会でも展開したい。」というお声もいただき、大変有意義な研修となりました。〈報告：小山 防災士〉



■身の回りの危険、災害時のトイレ（耳成地域子ども教室実行委員会）

6月3日、橿原市立耳成小学校体育館において、地域子ども教室が行われ、41名が参加されました。防災紙芝居と東京消防庁の安全チェッククイズを、プロジェクターを使って行った。家庭でもよく話をしていると感じられ、クイズの回答も正解が多かった。避難時の合言葉「おかしもち」についてもよくわかっている子が多かった。水の重さを知ってもらうために3リットル×4人の水を運んでもらった。非常時のトイレということで新聞紙、猫の砂、ペットシート、災害用トイレを4班に分かれて体験してもらった。

同様の内容で6月17日、橿原市立耳成南小学校体育館において地域子ども教室が行われ、66名が参加されました。楽しく知ってもらうために体験型で、水とトイレについて実体験をしたところ、大盛り上がりとなった。非常時のトイレでは、ペット用のトイレシートが楽で便利という声が多かった。〈報告：大北 防災士〉



■奈良市都祁公民館講座 キッズつげザー「めざせ防災士」

令和5年6月25日（日）、奈良市都祁公民館において、「キッズつげザー目指せ防災士」が行われ、奈良県防災士会から3名の防災士が講義を行いました。キッズつげザーの防災士講座は一昨年に続いて二回目となり、今回は9名のキッズと保護者3名が参加されました。キッズつげザーは「都祁の子集まれ！」というネーミングの連続講座で、都祁の防災教育の一環で、他には「目指せ消防団」というのもあります。

まず地元の末田防災士が防災士の説明として、過去12年間に都祁で行われた先進的で珍しい訓練の様子を、オリジナルソング「防災キッズ」に乗せたスライドショーにして紹介しました。続いて北村防災士がオリジナル紙芝居「地震編」を行い、お話の中でシェイクアウトの実践やクイズを実施しました。その後は実技練習として荷造りヒモを使ったロープワークと新聞紙でスリッパ作成など盛りだくさんの内容で、1時間半はあっという間に過ぎました。

NHK 奈良放送局から取材に来ていたこともあって、みんな真剣に楽しみながら防災体験をしてくれました。都祁は山間部のため人が少ないことと、小学生中学生は昼も夜も都祁にいたので、避難所を開設した時は自分たちも役に立てることに気づいてくれて、アンケートでも全員が「たのしかった、また来たい」と書いてくれました。〈報告：末田政一 防災士〉



■曾爾村防災訓練「マイ・タイムライン（土砂災害編）」

令和5年7月16日（日）曾爾村振興センターにおいて、曾爾村防災訓練が実施され、各大字から約30名の役員の方が参加されました。訓練は2部制で行われ、第1部は避難訓練として、5百余名の住民が近くの集会所等へ避難。第2部は奈良県防災士会から末田防災士が「マイ・タイムライン（土砂災害編）」の講義に伺いました。曾爾村では今年で7度目の訓練となり、継続して実施して頂いています。

今回は住民一人ひとりの安全のために、まず役員にタイムラインを作って頂いて、各地区へ持って帰って頂くことを目標として、簡単に利用出来る「逃げキッド」を使用した土砂災害編としました。曾爾村のハザードマップは広範囲の土砂災害警戒区域があり、参加者は危険箇所を再確認して、安全な場所と避難行動を考える機会となりました。〈報告：末田政一 防災士〉



■体験型「避難所開設・運営訓練」～発災直後の初動開設訓練～

令和5年7月2日、上牧町上牧第2中学校体育館にて避難所開設の防災訓練が行われ、訓練の運営依頼を受けた奈良県防災士会から20名の人員を派遣し、避難所開設訓練の運営支援を行いました。訓練の参加者は約100名で役場職員、自治会役員、自主防災会の方々となっております。訓練参加者を避難所開設班と避難者役の2班に分け訓練を実施し、1回あたり約40分で交代し双方の体験をして頂きました。今回、上牧町にて準備されている、開設・運営に用いる「避難所開設用資機材」の使用（防災倉庫備蓄品）や、「段ボールベット」の組立、「パーティション」の組立、「プライベートテント」（2種）の組立訓練も取入れ、併せて「ラップ式非常用トイレ」、「ベット用同伴時のテント」、「災害時公衆電話（特設公衆電話）」、「電気自動車からの給電」、「充電式投光器」などの紹介と展示も実施されました。普段、見ることがない資機材の展示もあり、参加された方の理解が増え、訓練の関する一定の効果を得たと考えております。



今回の訓練は、発災直後の初動訓練と位置づけ、急性期における混乱を鑑みて、不十分な資機材と環境の中での避難所の開設を行うもので、これまでに同様な訓練や経験をなされた方も少なく、なにをして良いのか全くわからないのが、実情だったと考えます。実際に我々、防災士も避難所開設マニュアルなどを見聞きして、頭では理解している事も、いざ対面し大勢の人が同時に避難所施設に訪れる状況下において、動けない事がほとんどした。改善するには、訓練を重ねると共に、人と人の繋がり、コミュニティー内での協力、そして組織を作り強くし結束することが、運営の鍵となると改めて考えさせられました。個々の知識や技能だけで、何とかなるものではない。

訓練の最終として、訓練の振り返りを奈良県防災士会より申し上げました。今回想定した大きな地震などの災害発生時は、行政などの公助は期待できず。自分の生命は自分で守り、避難所の開設は、その地域の住民自らの共助で立ち上げ、工夫して運営を開始する必要があるとまとめられました。



訓練に際しては、多々行き届かない所があり、ご参加頂きました住民の方、ご依頼頂きました上牧町役場様には、ご期待に沿える内容とはならなかったと思います。アンケート結果やご助言、指導頂きました事に関しては、今後の訓練に生かす所存でございます。暖かいお言葉も頂戴する事もできた事は、感謝の念に堪えません。

〈報告者：大坂間 防災士〉



明日香村災害復興支援活動（期間中 9 回の参加）

令和 5 年 6 月に発生した台風 2 号による被害が明日香村内で発生。被災されたお宅は裏山より大量の土砂が敷地内に流入しました。奈良県社協がヒアリングを行い、被災者のみの復旧は難しいと判断。レスキューアシストへ支援要請を行いボランティアが開始されました。当初は土日に限定した災害ボランティアを関係団体に連絡。奈良県防災士会にも連絡が入り、下記日程で支援を行いました。

※7月10日以降は明日香村社協が正式にボランティアセンターを立ち上げ、広くボランティアを募集しました。

- ①7月2日（日）、②7月3日（月）、③7月4日（火）、④7月9日（日）、⑤7月11日（火）
- ⑥7月13日（木）、⑦7月15日（土）、⑧7月16日（日）、⑨7月17日（月・祝）

●7月2日（日）～4日（火）のボランティア活動の内容

被災後約 1 カ月が経過しており、床下にも土砂が入ったままの状態でした。まず家屋周辺の土砂を運搬→家財の移動→畳・カーペットは浸水でカビが生えており使用不可で廃棄→床板はがし→週末の泥出しに備えてブルーシートで養生作業までをこの間で行いました。レスキューアシスト 中島氏の的確な作業指示により、少しずつ元の状態を取り戻しつつあります。 〈報告：八木沢 防災士〉



●7月9日（日）の活動報告

奈良県防災士会より 16 名の防災士が参加しました。「災害救援レスキューアシスト」中島氏がリーダーとなり、技術系ボランティアや学生ボランティア・一般ボランティアを含め当日は約 60 名が復旧作業に汗を流しました。防災士会は床下に流れ込んだ泥出しを担当。狭い床下から泥出し・運搬を繰り返し皆さんの頑張りにより、指定された場所からの泥はほぼ排出されました。

次の作業として縁側の土砂の排出を行い、この日の作業を終えました。別部隊では、土砂で汚れた大きいカーペットの洗浄→天日干しを担当し、作業完了しました。まだ完全普及は先ですが、少しずつ以前の状態に戻っていると実感できる今回のボランティアでした。

明日香村社協は正式にボランティアセンターを立ち上げ、7月10日（月）～7月17日（月・祝）まで広くボランティアの募集を開始しました。 〈報告：八木沢 防災士〉



●7月11日（火）の活動報告

午前9時から奈良県防災士会から3名、大和郡山市社会福祉協議会から2名、合計5名で参加しました。レスキューアシストのメンバーの指導のもと、床板の洗浄・乾燥、イス等の道具の洗浄・乾燥、物置部屋の土砂撤去などを行いました。だいぶ片付いてきた状況です。
〈報告：板垣防災士〉



●7月13日（木）の活動報告

明日香村稲淵地区集会所からスコップなどの資材を被災家屋に運び、

- ①一番奥の部屋の床下の土砂の撤去作業。土砂をバケツに入れ、屋外、庭を経て道路に運び、一輪車に載せ替えて土砂集積場へ運ぶ作業。屋内の土砂撤去作業は完了した。
- ②敷地内の土砂撤去作業。庭、通路の土砂を一輪車で土砂集積場へ搬出した。
- ③土嚢設置。再度、谷川氾濫による、家屋への浸水に備え土嚢を設置した。 〈報告：村山 防災士〉



●7月15日（土）の活動報告

当日の防災会の参加者は7名。82才のご高齢の方や元防災士会会員の方を含めての活動となりました。当日の防災士会の担当は、家の庭に残った土砂の搬出・清掃と家の周りの土砂だしと清掃でした。今回の参加者の方は災害ボランティア活動の経験豊富なメンバーが揃ったことで作業もテキパキとこなされていました。中でも、最高齢の82才の加藤さんの動きが素早く、他のメンバーもビックリで、最後には、「師匠」と呼ぶメンバーも出るほどです。支援状況としては、家屋内の泥出し、床板めくり、床下の泥出し、床板の張り直しが終了し、後は、お家の掃除という段階まで進んでいます。当日、被災された家の方と少し話をさせていただきました。家の方の話では、「鉄砲水が6回来た」「3回目の後に慌てて逃げた」「逃げる時は、膝より上まで来ていた泥水や土砂の中を必死で逃げた」とのこと。被災直後は、家の中が泥水のプール状態だったとの事です。写真を見ればわかりますが、山のように積まれた土砂は全て、スコップと一輪車で搬出という活動でした。あらためて人の力は凄いなと実感しましたが、支援活動も終盤に入っています。支援活動の指導を頂いたレスキューアシストさんに感謝しながら、もうひと踏ん張りです。〈報告：植村 防災士〉



↑ 運び出した土砂の山

●7月16日(日)の活動報告

本日も防災士会からの参加者は7名。災害ボランティア活動が初めてという方2名を含めた活動となりました。本日の活動の内容は、主に家屋や家具などの洗浄作業でした。レスキューアシストや社協の方々がお家の中の作業をされ、私達防災士会はいくつかのグループに分かれて、玄関先や側溝にまだ残っていた土を運び出しきれいに整える作業を行いました。途中、何度も行き来する社協の方から「通るたびにきれいになっていきますね」と声をかけていただきました。山からの鉄砲水が直接襲った物置小屋の外側の洗浄を任された防災士2名はあまりの泥の多さにしばし呆然としていましたが、ケルヒヤー(高圧洗浄機)を手渡されてからは作業が驚くほどスムーズに進み、途中から葛城市社協の方とも連携して、石垣も含めてすっかり泥を洗い流せました。



午後は防災士会の全員で、一週間前に奈良県防災士会チームが床下の泥を搬出した場所の道や草むらに広がっていた泥の掻き出しを行いました。ブロックの欠片や木切れ、粘土質の土が混ざっていて、仕分けしながら運ぶのは骨が折れました。

今日は気温が高くなるということで、作業30分、休憩20分のローテーションで進行していました。午後の炎天下ということもあり、交代で休憩を取りながらなんとか誰も熱中症にならずに進行できました。午後3時で今日の作業はお開きになったのですが、レスキューアシストの方々はお家の中の作業をまだまだ続けられているようでした。

このお宅での災害ボランティア活動も明日が最後となります。酷暑の中活動された皆さま、大変お疲れさまでした。

<報告：北村 防災士>

●7月17日(月・祝)の活動報告

この日は県防災士会7名、一般参加2名、計9名で活動しました。全体朝礼にてレスキューアシスト中島氏より、最終日なので全体の仕上げを行うと指示があり、家屋外周及び中庭の壁の泥落としと洗浄、前庭と道路から家に上がるまでの通路の泥落としと水洗浄を主に担当しました。その他土砂を被った家具を6名で運び出しての洗浄とふき取り、ブロック塀や汚れた板への高圧洗浄等、メンバーが協力しながら作業を進めました。家屋の中はレスキューアシスト専門メンバーが床板貼り、コンパネ貼り、壁の浸水した部分を露出させ乾燥させるなど、どんどん処置を進められていました。作業終了直前に玄関のアルミ製門扉をフレームごと元に戻す作業において、家屋の木枠に収まらず、レスキューアシストさんと防災士メンバーが意見を出し合いながら、何とか元に戻す事ができました。

私は活動当初の状態を見ているだけに、家中が土砂だらけの状況からまた住める状態になった事にボランティア力の偉大さを改めて感じる事ができました。

今回のボランティアに参加されました防災士メンバー、一般に参加頂いた方々、毎日集会場にて冷たい飲み物を提供頂いた明日香社協、奈良県社協の皆様にお礼を申し上げます。レスキューアシスト中島様、メンバーの皆様、指導頂きありがとうございました。7月18日以降レスキューアシストさんは豪雨被害が報道されている秋田県に向かわれるそうです。

<報告：八木沢 防災士>



明日香村災害復興支援活動参加者 集合写真

暑い中、災害復興支援活動に参加された防災士様 お疲れさまでした。

7月2日(日)～4日(火)、11日(火)活動に参加された防災士様。集合写真が揃えられなくてすみません。



7月9日(日)



7月13日(木)



7月15日(土)



7月16日(日)



7月17日(月・祝)

■NHK 大川悠介アナウンサーからメッセージをいただきました。

防災士の皆さん、NHKの大川悠介アナウンサーを覚えておられますか？数年前に奈良から大阪へ異動されたので、奈良県防災士会の活動でお目にかかることがなくなりましたが、秋から関西を離れて東京へ異動されるとのことで、防災士会理事会へご挨拶に来てくださいました。引っ越し準備のお忙しい中、わざわざお越しいただきありがとうございました。東京での更なるご活躍を応援しています。



防災士の皆さん、お久しぶりです。NHK アナウンサーの大川悠介です。

奈良→大阪と7年に渡って過ごした関西を離れ、東京に異動することになりました。防災士会の皆さんには、取材でお世話になっただけでなく、私自身も1人の会員として、真備町のボランティアや防災訓練のサポートでご一緒させていただきました。防災を伝えるうえで大切なことを学ぶことができました。ありがとうございました。

環境は変わりますが、防災情報の発信はこれからも向き合う大切なテーマです。これからも、ぜひ、さまざまな情報交換をさせていただき、地域や全国の防災力向上を共に目指せたらと思います！

<大川悠介 防災士>

今後の活動予定

■奈良県防災士会研修会

開催未定です。

理事長コラム

特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一
新型コロナウイルス感染症が5類へ移行して、3年間止まっていた訓練や講義の依頼を多くいただくようになりました。全国で多くの豪雨災害が発生している中で、ボランティア活動も積極的に行われています。奈良県防災士会でも災害ボランティア登録の再募集を行いました。コロナ禍で出来なかったことや、失われてしまったものを少しずつ取り戻しながら活動を進めています。

ここ数年は奈良県が主催する防災リーダー研修(防災士養成講座)が中止や定員削減が行われていた影響で、奈良県防災士会の会員数は横ばい状態です。何よりもコミュニケーションの手段が制限されていた影響で新しい会員との出逢いが少なくなり、スタッフの平均年齢も3年分繰り上がってしまいました。本年度より22歳以下の会費を免除として学生の入会を即すと共に、若い方にも気軽に参加頂けるような環境作りを行い、スタッフの若返りを目指して取り組んでいく所存です。

奈良県でも災害に備えた受援力を高めることが不可欠となっています。フットワークは軽く、敷居は低く、出来ることを出来る範囲で、そして何よりも楽しむこと！

若い方の参加と、ベテランのアドバイスをお待ちしております。



事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、

「奈良県防災士会」で検索！

奈良県防災士会のウェブサイトでは、会員のスキルアップのため、県内で開催される防災訓練の情報をスケジュール欄に掲載しています。併せてお手伝いの募集も行っています。予約制となりますので、見学を希望される方は、事前に事務局までメールで申込をお願いします。

投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

●送り先 **mail@bousainara.com**

●テキストおよび写真(肖像権など差支えないもの)をお送りください。



奈良県防災士会のFacebookを公開し、さまざまな情報をアップしています。「いいね！」をよろしくお願いします。

「Facebook 奈良県防災士会」で検索

■発行日 2023年8月27日

■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一
〒632-0221 奈良市都祁白石町1192-190

■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail mail@bousainara.com

■FAX 050-3488-8178

■ウェブサイト <http://bousainara.com>

■Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>